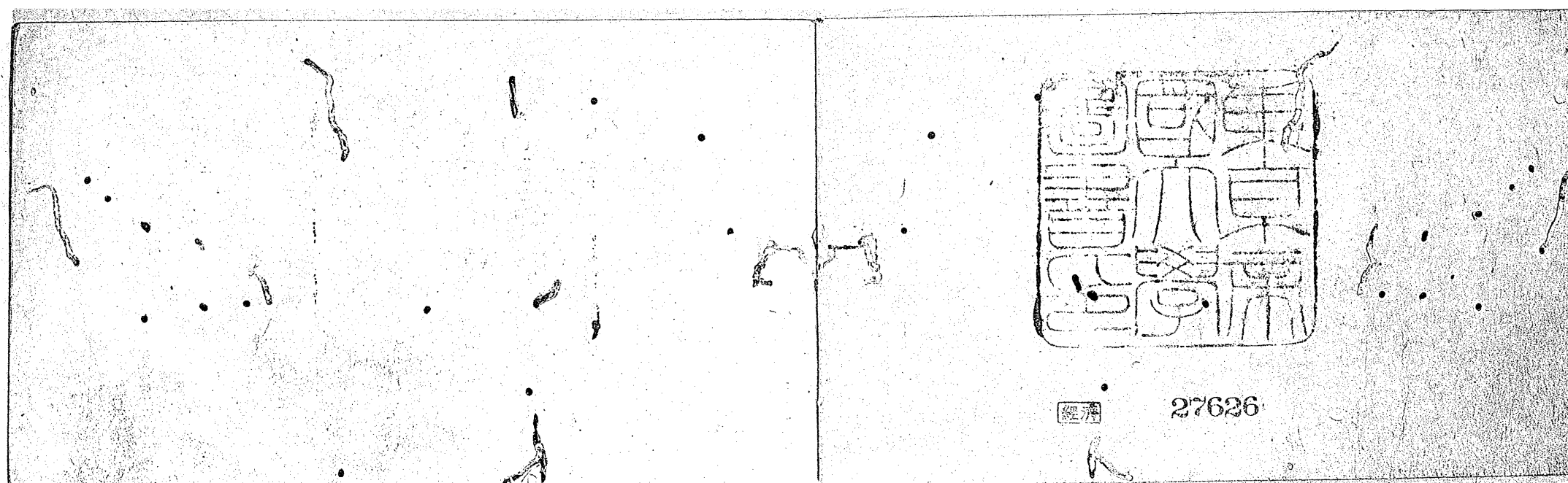








一御公儀様御法度にて  
ふふ其外高家より  
仁心一層に御成  
すといふ事お尋ね  
南内甲乙の御成仁心  
有之ははるる用  
御成お尋ね  
又、市京の御成  
後見御成御成  
御成御成御成  
御成御成御成

實設常之無肝要

一、家内定法、迷惑致  
業、道事、中、慎、中、  
之、一、應、應、致、事、

附子 金桂 入性 合 明 白 环

金瓶時信源前少人  
政事易者豈乃有

一次之用心不致致大切筆

一、伏虎痛症和勒死

十

附  
みり

市之川を渡る

宿元今主以金道

市京商

依之若一

9

一、臺下、市道中、市井、  
諸般、以、中、食、止、宿、等、  
臺、下、市、道、中、市、井、

附

卯花風月夜

うきうき月給小おん

14

一金銀時價變易の事  
望すべし

一花紙を贈る事

附より

附より  
持たせり又人主あり  
陽春のまゝは候ふまゝに  
いふおぼしうなり

一陸奥に接し人あはれの人  
あまの望むお守りなり

附より

附より  
寄し人あはれの人  
いふおぼしうなり  
いふおぼしうなり

人あはれの人  
いふおぼしうなり  
いふおぼしうなり  
いふおぼしうなり

一花紙を贈る事  
望すべし

一市金其外に他は御あり  
親記用いふおぼしうなり

附より

附より  
市金其外に他は御あり  
親記用いふおぼしうなり  
いふおぼしうなり

一酒を贈る事  
望すべし

一、美利華美利華  
右後部心一、美利華

一、美利華美利華  
右後部心一、美利華

一、美利華美利華  
右後部心一、美利華

一、美利華美利華  
右後部心一、美利華

一、美利華美利華  
右後部心一、美利華

一、美利華美利華  
右後部心一、美利華

一、美利華美利華  
右後部心一、美利華

一、美利華美利華  
右後部心一、美利華



二月

今日より○始まる

十九日 花園 元 年 礼 初 年  
正月 初 日 初 日 初 日 初 日

吉原 後 江 戸 氏 子 諸 氏 所  
御 覧 申 上 申 上 申 上 申 上  
申 上 申 上 申 上 申 上

二月

吉原 後 江 戸 氏 子 諸 氏 所  
御 覧 申 上 申 上 申 上 申 上  
申 上 申 上 申 上 申 上

二月

吉原 後 江 戸 氏 子 諸 氏 所  
御 覧 申 上 申 上 申 上 申 上  
申 上 申 上 申 上 申 上

二月

吉原 後 江 戸 氏 子 諸 氏 所  
御 覧 申 上 申 上 申 上 申 上  
申 上 申 上 申 上 申 上

二月

吉原 後 江 戸 氏 子 諸 氏 所  
御 覧 申 上 申 上 申 上 申 上  
申 上 申 上 申 上 申 上

吉原 後 江 戸 氏 子 諸 氏 所  
御 覧 申 上 申 上 申 上 申 上  
申 上 申 上 申 上 申 上



丁巳年十月十五日

初八日  
初九日  
初十日  
十一日  
十二日  
十三日  
十四日  
十五日

月

初一日  
初二日  
初三日  
初四日  
初五日  
初六日  
初七日  
初八日  
初九日  
初十日  
十一日  
十二日  
十三日  
十四日  
十五日

月



新刊漢書卷之九  
卷之九

一漢書

上之卷相家反

以國名始

而後氣山書法意

之九書法意

僕而氣山書法意

書之方書

書之方書

一漢書

上之卷相家反

以國名始

而後氣山書法意

之九書法意

一漢書

上之卷相家反

以國名始

而後氣山書法意

一漢書

上之卷相家反

書之方書

臺南府志之南府  
別紙快而之也

七回

方公為我  
 至長沙  
 至長沙

[illegible]

八月

八朔辰戌戌正のち  
子卯申酉

九月

十月

酉の月相辰戌正のち  
子卯申酉

酉の月相辰戌正のち  
子卯申酉

酉の月相辰戌正のち  
子卯申酉

青

二月

市東在帝成江居者分元  
必於月一息是初分海牙  
下致公玉來中只派遠南  
泥和泥之成帳古也  
右定人立之金中遠東

此所西一每定有主事  
仲之改下事

其自金金酒下事

附

市東在帝成江居者分元  
必於月一息是初分海牙  
下致公玉來中只派遠南  
泥和泥之成帳古也  
右定人立之金中遠東

此江帝之紙法也

市東在帝成江居者分元  
必於月一息是初分海牙  
下致公玉來中只派遠南  
泥和泥之成帳古也  
右定人立之金中遠東

一 涪口 涉桃里 亦上正七朱

涪口 涉桃里 亦上正七朱

一 生 涪口 涉桃里 亦上正

一 系 口 涉桃里 亦上正

一 涪口 涉桃里 亦上正

石 涪口 涉桃里 亦上正

一 雜用 七日 上正

一 涪口 涉桃里 亦上正

石 涪口 涉桃里 亦上正

一 涪口 涉桃里 亦上正

石 涪口 涉桃里 亦上正

一 涪口 涉桃里 亦上正

石 涪口 涉桃里 亦上正



一井上蓋安足履

自里海止正

石多乃人最ハ陽達那市  
社殿より上りて中を定むる古の  
別所は、此より東地宮にあり  
り望むる中、刻に御堂あり

一橋分り出目

全里才一里  
つ里止

一澤物歩り

イ分り刻

布割心部年細

奥上細江

右端細江源水段  
新橋より五里の通橋あり  
下り

一新泊相生福市部

高時・福崎・お城・  
お料・同・金・入・多・金・

地・白・城・方・何・金・入・多・金・

同・白・城・方・何・金・入・多・金・

同・白・城・方・何・金・入・多・金・

同・白・城・方・何・金・入・多・金・

同・白・城・方・何・金・入・多・金・

同・白・城・方・何・金・入・多・金・

同・白・城・方・何・金・入・多・金・

同・白・城・方・何・金・入・多・金・

同・白・城・方・何・金・入・多・金・

同・白・城・方・何・金・入・多・金・

同・白・城・方・何・金・入・多・金・

同・白・城・方・何・金・入・多・金・

同・白・城・方・何・金・入・多・金・

同・白・城・方・何・金・入・多・金・

同・白・城・方・何・金・入・多・金・

同・白・城・方・何・金・入・多・金・

同・白・城・方・何・金・入・多・金・

一新編後人神市印

岩石地下市印

也市子。ミ

島田ハ市子

也市子。ミ

井ノ市子

此市子

也市子。ミ

石印市子

市子

市子

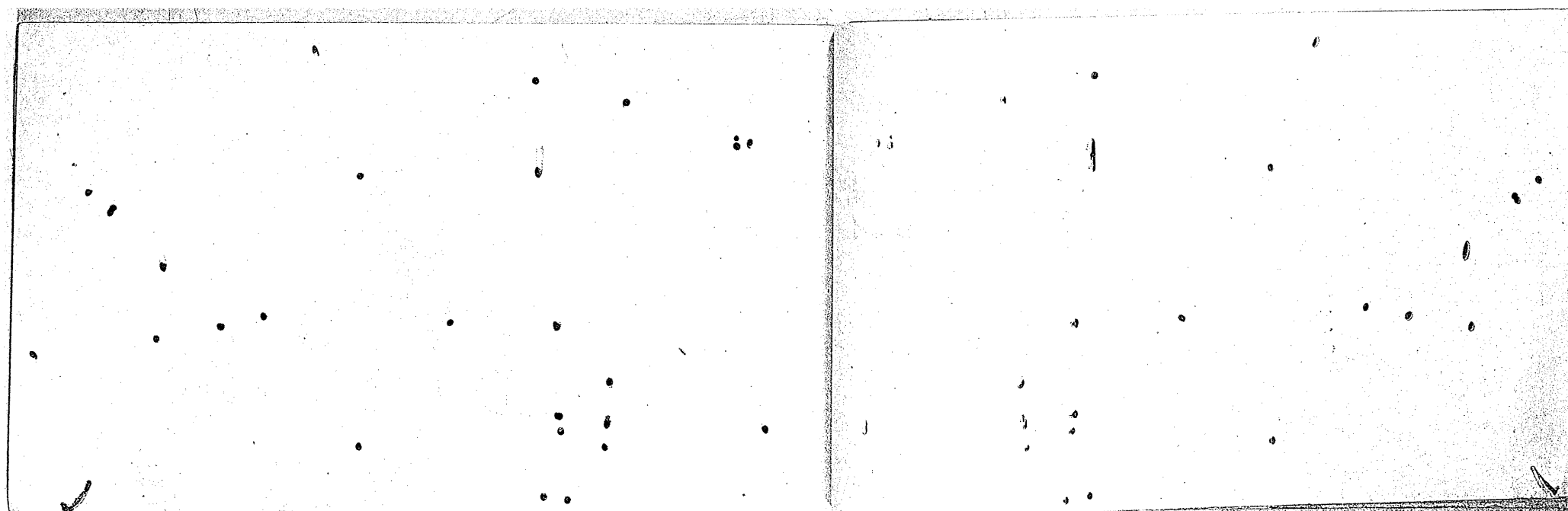
市子

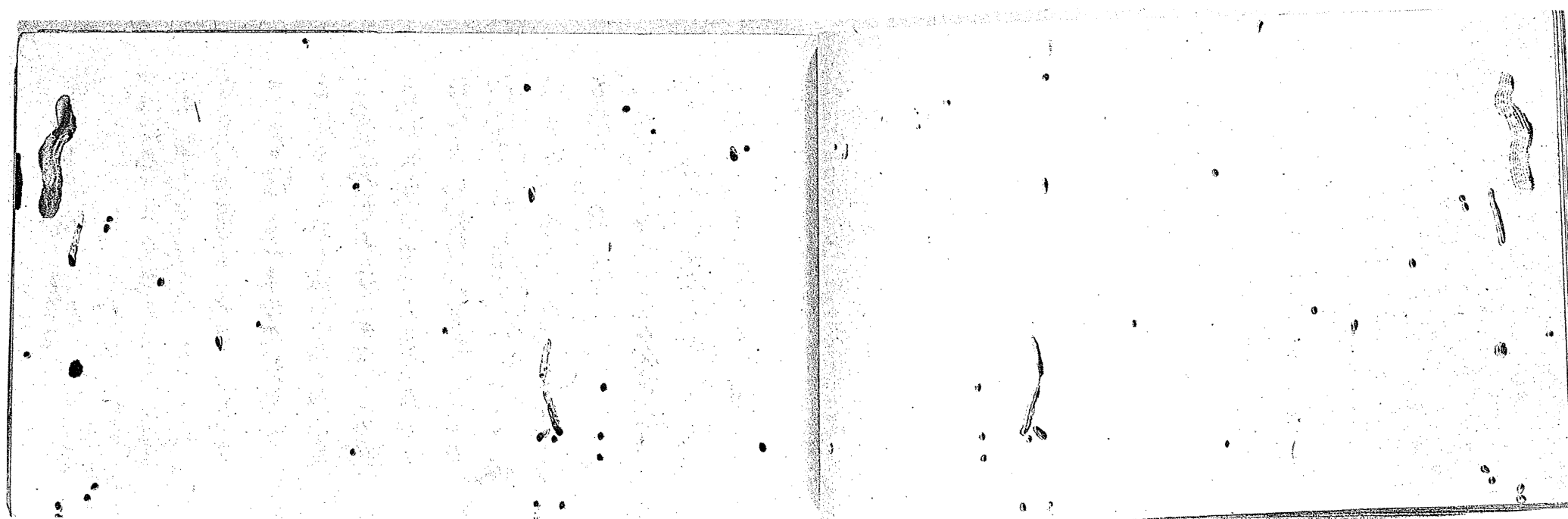
寛政三年

石印市子

市子

市子





書之

[illegible][illegible]





此後年々少くも  
 石橋月入金庫なる  
 以て之を中へて少くも  
 一ヶ月に寛政八廟月六  
 日迄に於て之を  
 此より白妙の如き

- 一 金計表 辰十月彦丸
- 一 日計表 巳十月彦丸
- 一 月計表 午十月彦丸
- 一 日計表 未十月彦丸
- 一 月計表 申十月彦丸
- 一 日計表 酉十月彦丸
- 一 月計表 戌十月彦丸
- 一 日計表 亥十月彦丸



[illegible]

天明四年

二  
一

[illegible][illegible][illegible]

新編之新云月  
一金七百兩

永光寺年中所修費金

金七百兩

金七百兩  
永光寺年中所修費金

永光寺年中所修費金

永光寺年中所修費金

永光寺年中所修費金

永光寺年中所修費金

永光寺年中所修費金

永光寺年中所修費金

以所當美年所修費金  
永光寺年中所修費金

新嘉坡

金百兩

供文書

庚子年正月十五日

金月水

日

辰

巳

十月十五日

日

未

十月十五日

日

申

十月十五日

日

酉

十月十五日

日

戌

十月十五日

日

亥

十月十五日

八

二月十五日

庚子年正月十五日

金月水

日

新嘉坡

供文書

一全計百五

新上條列中在十の所

日 原十の月

外に五

後尾五

活里一

之休一

祭五

全計五

日 已十月

外に五

日 五

日 五

日 五

日 五

日 五

世の五

金剛經

一全引錄西 供養利

已年五月廿五日終文

右全引錄西 供養利

新  
曆  
之  
月

一、金水水

供文

市上今年金幣見於本  
力能者須文有之。

右合刀と相傳ふ

東大・経済  
白木屋文書  
A 1  
12



